

【 診療科:消化器外科 】  
 【 レジメン登録番号:SG-136 】

### < FOLFOX+Nivolumab療法 >

	投与量	投与経路	投与スケジュール(day)	
			1	..... 14
オブジーボ	240mg/body	div	○	
オキサリプラチン	85mg/m <sup>2</sup>	div	○	
レボホリナート	200mg/m <sup>2</sup>	div	○	
フルオロウラシル	400mg/m <sup>2</sup>	全開div	○	
フルオロウラシル	2400mg/m <sup>2</sup>	div	○	

【1コース期間: 14 日】 【総コース数: 制限なし】

【適応癌種: 胃癌・食道腺癌】

【時期: 術前、術後 **手術不能・進行・再発**】

【休薬・減量に関する要件】

項目	基準	減量内容	休薬時の再開基準

#### 投与プロトコール

<第1-3日目>

Rp	薬剤名	投与経路(速度)
Rp.1	オブジーボ 240mg/body	div(30分で)
	生理食塩水 100mL	
Rp.2	デキサート 6.6mg	div(15分で)
	5-HT3R Blocker 1A	
	生理食塩水 100mL	
Rp.3-1	オキサリプラチン 85mg/m <sup>2</sup>	側管div <sup>※1</sup> (120分で)
	5%ブドウ糖液 250mL	
Rp.3-2	レボホリナート 200mg/m <sup>2</sup>	div(120分で)
	5%ブドウ糖液 250mL	
Rp.4	フルオロウラシル 400mg/m <sup>2</sup>	div(10分で)
	5%ブドウ糖液 100mL	
Rp.5	フルオロウラシル 2400mg/m <sup>2</sup>	div(46時間で)
	生理食塩水 500mL <sup>※2</sup>	

<第1日目>

Rp	薬剤名	投与経路
Rp.1	アプレピタントカプセル(125mg)	p.o. <sup>※3</sup>

<第2-3日目>

Rp	薬剤名	投与経路
Rp.1	アプレピタントカプセル(80mg)	p.o. <sup>※3</sup>

【参考文献:Lancet 2021;398:27-40】

【備考:※1...オキサリプラチンとレボホリナートは同時投与。】

【備考:※2...Rp.5を末梢で投与する場合は上記オーダーで。CVポートより投与する場合は、携帯型ディスポーザブル注入ポンプ(バクスターSV2.5)を使用する。】

【備考:※3...経口困難の症例はプロイメンドの使用を考慮。】